

私のまちの未来想像会議開催報告

1 概要

(1) 主旨

- 主にバックカスティングの視点から「将来都市像」や「重点プロジェクト」等の検討に資するキーワード・キーセンテンスを収集するために開催する。
- 中長期的かつ組織横断的な視点から富士宮市のまちづくりを検討するための視点を養う。

(2) 対象

主に事務員、主事、主査級(1～3級)の職員 28名(各回5～6グループで開催)

(3) 開催期間

令和6年6月～9月(全4回)

(4) 各回のテーマとねらい

回	日時	テーマ	ねらい	参加者数
第1回	6月25日(火) 15:00～17:00	富士宮市でできること・できないこと	富士宮市で生活していく付加価値を言語化する (魅力的な資源を大量に発掘する)	28名
第2回	8月7日(水) 15:00～17:00	富士宮市に来る人・住み続ける人・出ていく人	定住者・転入者・転出者の特徴を整理する	21名
第3回	9月13日(金) 15:00～17:00	市民の定住や市外からの転入(Uターン含む)に必要な取組	総合戦略の施策候補となる取組を検討する ⇒第1・2回の検討結果をもとに考える	27名
第4回	9月27日(金) 15:00～17:00	富士宮市で叶える将来の市民の Well-Being な暮らし	将来実現したい暮らしは政策により達成される成果をイメージするものであり、将来都市像に繋がるキーワードを抽出する	25名

(5) 進め方

- 参加者のグループは固定せず、毎回組み換えを行う
- 各グループの進行役と発表役はグループ内で決める

2 結果

2-1 「富士宮市でできること・できないこと」

第1回は富士宮市に住んでいるからこそできる豊かな暮らしについて、市をよく知る職員の見線から6つのグループに分かれて検討した。併せて、富士宮市でできないために残念に思うことも検討した。

富士宮市でできること・できないこと

	富士宮市でできること	富士宮市でできないこと
A	①イオン イオンに行けば基本的に何でもできる。 ②気候が良い ③食が充実している ④ゴルフ場やキャンプ場がたくさんある ⑤観光資源が豊富である	①交通の便が良くない ②駅周辺の施設が充実していない 他のまちと比較して飲み屋やラーメン屋が少ない。
B	①水がおいしい◆ 水道水が県内の中でも安く、クラフトビールやワインも有名。 ②どこからでも富士山が見える ③富士宮口から2つのルートで富士山に登れる 宝永山遊歩道がある。皇太子殿下の登山道である「プリンスルート」は広く知られていない。 ④スポーツ資源が豊富 サッカー選手・吉田豊氏は富士宮市出身。ソフトボール大会(富士山スタジアム)や富士宮駅伝競走大会等のイベントも多い。 ⑤浅間大社 5, 8, 11 月に大きな祭りがある。	①交通の便が悪く宿が少なく 駅周辺に宿泊施設がある一方、飲食店の多くは駅から離れている。市外からの来訪客等が飲酒后に宿泊施設まで行く交通手段がない。 ②駅周辺の施設が充実していない 他のまちと比較して飲み屋やラーメン屋が少なく、お土産を買える場所もない。
C	①水道水からおいしいお水を飲むことができる ②子どもにやさしいまちづくりをしている◆ 子どもが楽しく遊べる公園が多い。こども医療費助成制度(自己負担金が4回/月まで最大500円、5回目以降は0円)がある。 ③ラーメン屋やカフェ等の飲食店(特に個人経営)が多い ④気候が安定している ⑤バランスの良い田舎である◆ 自然が豊かであり、生活しやすい。	①坂が多く南北に長いため交通手段が十分でない ②産婦人科で分娩ができる病院が少ない◆

	富士宮市でできること	富士宮市でできないこと
D	①富士山が見える 市内どこでも富士山を見ることができ、富士山に抱かれたまちである。自然も満喫できる。 ②水道水がおいしい(もはや天然水) 水がおいしいので酒造やワイン製造も盛ん。 ③公園や遊具の新設が増加している◆ ④デジタル教科書の導入が進んでいる◆ デジタル教科書は県内で唯一導入されている。 ⑤春夏秋冬で様々なお祭りがあること◆	①出合いが少ない◆ 中小企業が多く若い社員もいるが、中小企業間での交流機会が乏しい。 ②紙とPCの両方を持参する必要がある 教科書とタブレットを持参する必要がありランドセルが重い。
E	①自然を生かしたレジャーやキャンプができる ソロ向けから大人数向けまで多様なキャンプ場がある。釣ったマスをそのまま塩焼きにして食べられる。 ②畜産業が盛んである◆ 牧場経営のアイス屋が多い。 ③まちづくりに積極的な人が多い◆ 「富士宮焼きそば」や毎週開催する商店街主催のお祭り等、地元の人が発的に実施するイベントが多い。 ④高速道路のインターが近い 名古屋にも東京にもアクセスしやすい。 ⑤子どもが遊べる施設が多い イオンがあるため小中学生はゲームセンターや映画館で遊ぶことができる。	①助産院が少ない ②公共交通機関が少ない(車がなければ何もできない)
F	①富士山の麓でレジャー(ゴルフ、キャンプ等)を楽しむ ②富士山の湧き水を利用した工場で働くことができる◆ 工業団地では様々な商品を生産。高卒者採用が激化しているが、市内にも働き口が多くあるのではないかと。工場では富士山の湧き水を利用していると思われる。 ③富士山にちなんだ食事が楽しめる ④富士山にちなんだパワースポットで癒しを得ながら生活ができる ⑤富士山にインスピレーションを受けた芸術作品を作ることができる 「富士山への手紙・絵コンクール」があり、手紙や絵を全国から募集。年々知名度が高まっており、海外からの応募も多い。	①自然災害のリスクを考えずして生活できない ②車がなければ生活できない◆

2-2 富士宮市に来る人・住み続ける人・出ていく人

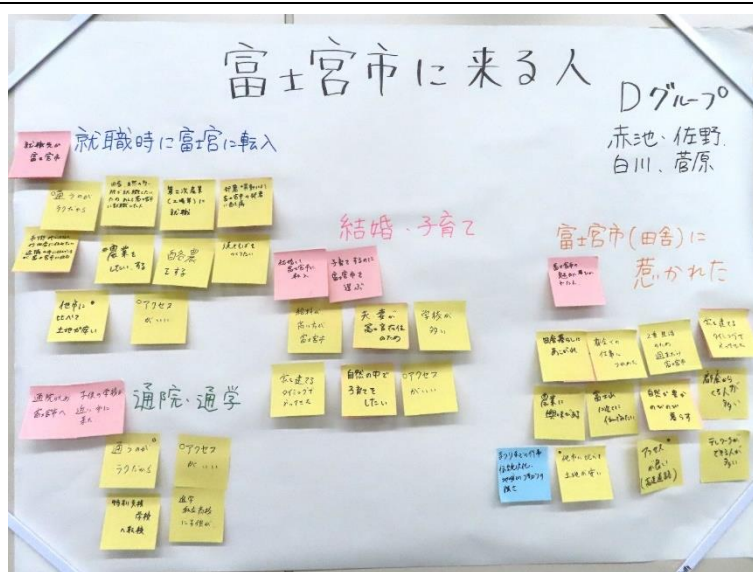
富士宮市に来る人・住み続ける人・出ていく人について、グループでカテゴリを決めて、それぞれの特徴や理由を検討した。

富士宮市に来る人・住み続ける人・出ていく人

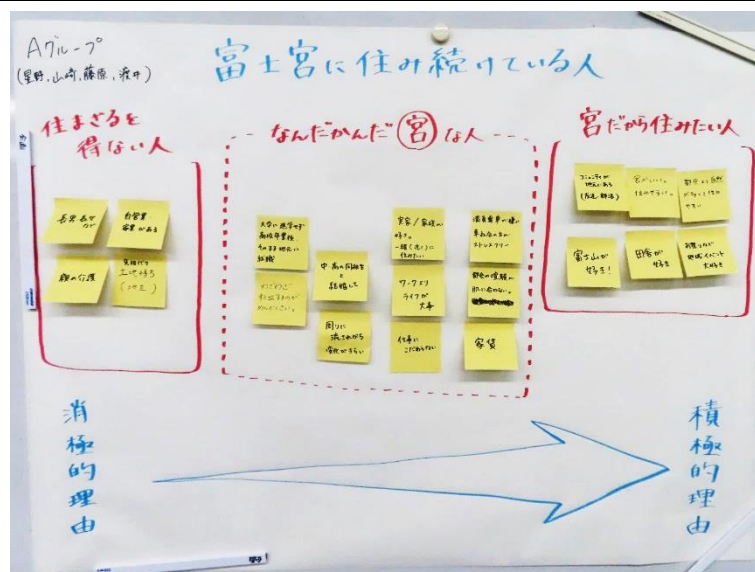
カテゴリ	特徴
来る人①	●老後 ・ ロマンと共通する部分がある。 ●起業：一番多いのでは ・ 富士宮市で酒造りを目的に起業するのではない。富士山の天然水があるので、酒造りに向いている。 ・ 富士山の自然を伝えるインストラクターになりたいと起業する。 ・ あおぞらピザや七富チーズ工房等、富士宮だからこそ起業する。 ●ロマン：単純に富士山の麓に住みたい ・ 富士山・富士宮の自然に憧れて移住するのでは。都会暮らしに疲れた人や登山が好きな人、富士山をイメージして陶芸をしたい人等、現実的な理由というよりロマンを求めて富士宮に来る。 ●子ども ・ 子育てにはお金がかかるが、富士宮市はいろいろな補助が受けられる。 ・ 子育ての環境として、都会の利便性よりも自然に囲まれた丁寧な暮らしをしたい人。 ・ 子育てのことも考えて、職場の近隣に住みたい人。 ●家 ・ 都会だと土地が高く住宅を購入できないという現実がある中で、富士宮なら住宅を買える。 ●就職：起業ではなくファーストジョブとして来る若者 ・ 工場に勤めたい人、林業に従事したい人。 富士宮市役所の倍率がそれほど高くないため、併願の結果来た人も少なくない。



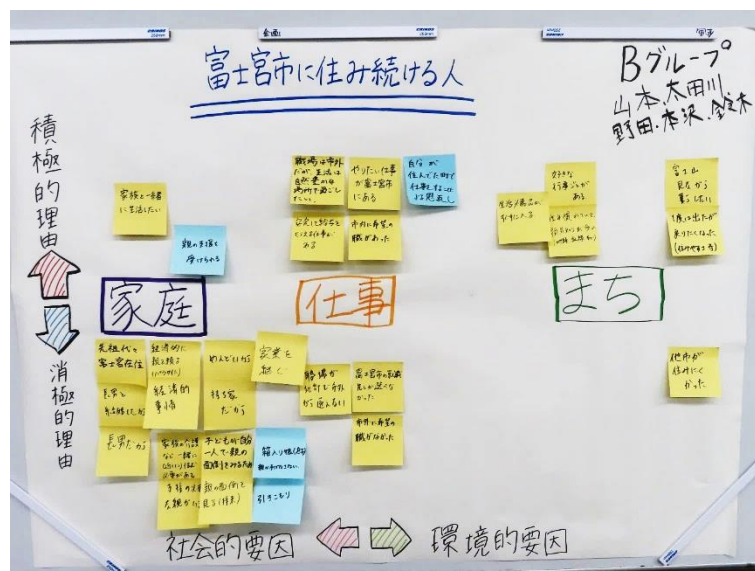
カテゴリ	特徴
来る人②	●就職時に富士宮市に転入してくる人 ・ 農業や酪農があり、第 1 次産業に就職するため富士宮市を選ぶ人が多い。 ・ 部署移動で富士宮市に配属。 ・ 焼きそばを作りたいという夢があって来る。 ・ 就職先が富士市や隣の市町だが、市街地ではなく田舎に住みたい人。 ・ 就職先にアクセスが良い。 ・ 富士市に比べて土地が安いので家が建てやすい、アパートの家賃が安くて住みやすい。 ●結婚、子育て ・ 結婚をして富士宮市に転入してくる。 ・ 子育てをするのに富士宮市を選ぶ(例えば夫と妻のどちらかが富士宮市に住んでいて、結婚を機にどちらかが仕事を辞めないといけないのだが、給料高い方が富士宮市だった)。 ・ 自然の中で伸び伸びと子育てをしたい。 ・ 土地が安く家を建てやすい。 ・ 他の市に比べて、学校が多い。 ●通院、通学 ・ 病院に通うために富士宮市に来る人は、バイパスや高速のインターがある等、他市町への交通アクセスが良く、県内県外の病院にも行きやすい。 ・ 子どもの学校について、富士特別支援学校の本校が大淵に、分校が富士宮にあり、大淵に行くのにアクセスが良いので杉田に住んでいるという事例もある。 ●富士宮市(田舎)に惹かれた ・ 田舎暮らしに憧れて、都会での仕事に疲れて、富士宮市に越してくる。 ・ 農業に興味があり、都会から来る。 ・ 土地が安い。 ・ 高速道路のインターチェンジがすぐ近くにありアクセスが良いため生活しやすい。



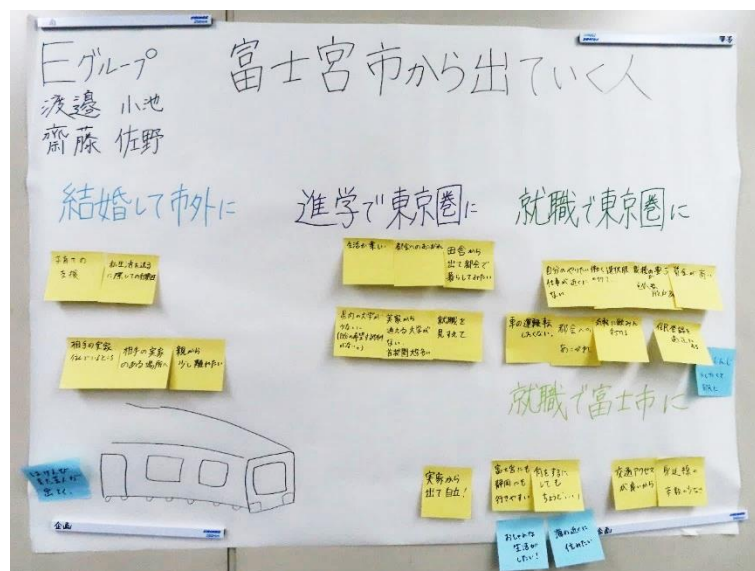
カテゴリ	特徴
住み続ける人 ①	積極的な理由で住みたい人と、住まざるをえない等消極的な理由で住んでいる人がいる。どちらの理由もグラデーションとなっており、プラスの部分もマイナスの部分も考えて、何だかんだ富士宮にずっといる人という中間層を考えた。 ●積極的理由(富士宮だから住みたい人) ・ お祭りや地域のイベントが好き。 ・ 田舎が好き。 ・ 富士山が好き。 ・ 都会より自然が多くて住みやすい。 ・ 地元の友達や部活や学校の先輩後輩等、周りに繋がりがあるからここに住み続けたい。 ●消極的な理由(帰ってこなければいけなくなってしまった、ここにいないければいけない人) ・ 自営業で家業がある。 ・ 長男長女/一人っ子である。 ・ 親の介護をしなければならない。 ・ 先祖代々の山や土地等がある。 ●中間ゾーン(一番リアリティがあると感じる理由) ・ 満員電車が嫌いで、車社会の方が良いタイプ。 ・ 都会の喧騒が嫌い。 ・ 都会は家賃が高い。 ・ 実家や家族が好きで一緒に住みたい。 ・ 仕事には強いこだわりがなくワークライフのライフの方が大事。 ・ 中高の同級生と結婚したり、大学に進学しないで、高校卒業後もそのまま地元において他のところに出て行く機会がなかった。 ・ わざわざ転出するのが面倒くさい。 ・ ずっとここで良いと感じて住んでいる。



カテゴリ	特徴
住み続ける人 ②	家庭の理由：福祉分野の関連が強く、ここに注力をする、市外に出ていく人が減るのではない。家庭の事情で富士宮に住んでいる人が多いが、仕方なく富士宮に残っている人達を手助けする制度も大切。 まち・仕事の理由：富士宮市には魅力がある。その魅力により市外から来てくれる人が増えることも大事。また、もともと住んでいる人が残りたいと思えるような施策も今後考えていく必要がある。 ●家庭理由 - ここに居ざるをえないという人が多いのかなというのが正直な分析。 - 高齢化率 30%ぐらいの市なので、長男であることやもともと持ち家があることを理由に、高齢の親と一緒に住まなければならない、外に出られない。 - 家庭がでは、プラスの理由は思いつかなかった。 ●仕事の理由 - 積極的理由：やりたい仕事がある、酪農や工業等の稼業がある。 - 消極的理由：就職活動がうまくいかず、ここしか受からなかったから。 ●まちの理由 - 富士山をはじめとした観光や水等(積極的な面)。



カテゴリ	特徴
出ていく人	●結婚して市外に転出 ・ 富士宮市より子育ての支援に長けている市町を選ぶ。 ・ 都市生活を送るために静岡市に住んでいるほうが何をするにも利便が良い。 ・ 結婚相手の実家が富士宮市外にある。 ・ 富士宮市にある実家から離れたい。 ●進学で東京圏に転出 ・ 都会への憧れをもっている。 ・ 静岡県内に大学が少なく自分の希望する学科や自分の偏差値に合う大学がない。 ・ 就職を見据えると適切な進学先がない。 ●就職で東京圏に転出 ・ 進学で東京圏に出てそのまま東京圏に住む。 ・ 自分のやりたい仕事や富士宮市にはなく、仕事の選択肢が多いことや賃金が高いことを理由に東京圏を選ぶ。 ・ 富士宮市には飲み屋が駅周辺にしかなかったり、車で移動が基本であるため、気軽に飲みに行きやすい環境が整っている。 ・ 派遣会社があるが、ミスマッチにより出入りが多い。 ●就職で富士市に転出 ・ 実家から出て自立したいという人。 ・ 何をするにしても富士宮市よりも富士市の方がちょうどいい(鉄道のアクセス等)という理由で就職をきっかけに富士市を選ぶ。



2-3 市民の定住や市外からの転入に必要な取組

グループワークで検討した富士宮市に来る人・住み続ける人・出ていく人を6つのカテゴリに細分化し、それぞれが富士宮市でポジティブに暮らしていくために必要なことを検討した。各グループでペルソナと富士宮市に住んでいる理由を自由に設定し、その人が10年後に実現できているとよいと思われること想定し、その実現に向けて必要とされる「行政の取組」や「地域・市民・企業に求められること」を検討した。

富士宮市に来る人・住み続ける人・出ていく人の6つのカテゴリ

1.なんとなく住み続けている人
2.住み続けなければいけなかった人
3.希望して住み続けている人
4.近隣市町村から転入してきた人(結婚、子育て、住宅購入等)
5.Uターンで戻ってきた人
6.東京圏から移住してきた人

市民の定住や市外からの転入に必要な取組①

カテゴリ	なんとなく住み続けている人
ペルソナ	20代男性、実家暮らし、マイペースな性格、いつまでもスポーツをしたい。
富士宮市に住んでいる理由	たまたま実家から通勤できる距離の企業に合格した。
10年後に実現できているとよいこと	家族：結婚して子どもがいる、家族で週末に公園に行く 住まい：庭が広い大きな家を建てる、家に友達家族が遊びに来る 趣味：好きなスポーツを続けていく
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 出会いの場 ・ 子供を遊ばせるための駐車場がある広い公園の整備 ・ 家を建てるにあたり、勤めている会社等からの補助 ・ たくさんある空き家の活用サポート ・ スポーツができる場所と機会(市民スポーツ祭りのような定期的に開催されるもの)

市民の定住や市外からの転入に必要な取組②

カテゴリ	住み続けなければいけなかった人
ペルソナ	29 歳女性。美容の仕事。車通勤。運動不足を解消したい。結婚が決まっている。
富士宮市に住んでいる理由	市内に友人も多く、高校時代から先輩と交際中。進学はせず、地元就職。家族仲も良く今後も近くで暮らしたい。
10年後に実現できているとよいこと	仕事： 仕事と家庭の両立、ライフワークバランスが取れる企業が増える、自分のお店を持ちたい 家庭： 結婚入籍する、子供 2 人できる 住まい： 車を駐車できる広い家に住んでいる 健康： スポーツできる公園がある
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 結婚後に仕事と家庭の両立できるように、ワークライフバランスのとれた企業が増えている ・ 美容事業を起業する際の優遇措置。個人事業主としてやっていく方が、ワークライフバランスが取れる。 ・ 市内在住者の結婚のお祝い金もしくはお祝いクーポン（宿泊施設で使えたり、ウエディング写真が撮れたりできる体験）。 ・ 手厚い子育て支援（漏れのないような預かり保育）。 ・ 住まいの面で、土地購入時に子どもの数によってもらえる補助金。 ・ 健康で美しく仕事をしていけるようなジムの割引など。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組③

カテゴリ	住み続けなければいけなかった人
ペルソナ	高等専修学校に通う 3 年生の 18 歳女性。家族の面倒を見るため、週 4 日アルバイトをしている。
富士宮市に住んでいる理由	小学生まで児童福祉施設で育った。
10年後に実現できているとよいこと	第一にこのような人が相談できる場所が必要。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 相談する場所に声をあげられない人のために、声を吸い上げることができる仕組み。 ・ 生活保護が必要な人にアプローチできるような保護の充実。 ・ 気軽に使える行政の専用ダイヤルや LINE。 ・ 企業・学校は、社員・生徒の情報は持っているものの、横の連携がないため、企業・学校・市の 3 者の繋がりをうまく持てる情報共有できる仕組みが必要。 ・ 企業としては賃金を上げる。 ・ このような子ども集まれる場所、働きながら学校に通える仕組み。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組③

カテゴリ	住み続けなければいけなかった人
ペルソナ	26 歳男性。両親と 3 人暮らし。Web 関連の仕事。趣味はバンドで交友関係が広い。思想が強い性格で倅約家。最近メンバーと方向性の違いを感じている。
富士宮市に住んでいる理由	メジャーデビューを控えお金が必要なので実家を頼っている。
10 年後に実現できているとよいこと	メジャーデビューして成功する。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 富士宮市には音楽がやれる場がないので、音楽ができる会場づくりや、そのような夢を追う人の支援やイベントの企画。 ・ 民間的には発掘オーディションなど素人でも参加できるものをテレビ局で開催する。 ・ デビューできなかった場合、交友関係が広いという所を使いながら、駅前にライブハウスを作る。行政としてはスタートアップ支援事業ができるといい。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組④

カテゴリ	希望して住み続けている人
ペルソナ	20 代後半。男性。既婚。子供あり。会社員。ショッピング、スポーツが趣味。
富士宮市に住んでいる理由	・ 富士宮市出身。 ・ 自然に恵まれて住みやすい。 ・ 職場がある。
10 年後に実現できているとよいこと	—
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ よりよい子育て支援や保育施設の充実。 ・ 周辺住民との関係性の良さがあるので、そういったところが子育て支援につながる。 ・ 富士宮市はアクセスが悪いので良くしていくのが大事。 ・ 仕事面で、それなりの収益、人間のサポートが必要。 ・ 趣味であるショッピングが充実できるよう企業誘致や出店支援を行う。 ・ 富士宮市には有名なスポーツチームがないため、スポーツができる施設の充実。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑤

カテゴリ	希望して住み続けている人
ペルソナ	28 歳会社員女性。高卒。両親と同居。一人っ子。猫を飼っている。平々凡々な内向的な性格。インドア派。友人や家族を大事にしている。
富士宮市に住んでいる理由	結婚を機に転入してきた(夫が富士宮市在住者)。
10年後に実現できているとよいこと	・ 両親の健康(両親が自立していて介護の心配がない)。 ・ 良好な人間関係(友達が地元を離れずにいる、会社・家族・友達以外にも新しいつながりがある、いいパートナーに出会える)。 ・ 趣味を続けられる環境(習い事の店とか場所がある、アイドルを見に行ける交通手段、趣味・習い事の発表の場・交流の場)。 ・ 雇用の安定(部下とうまくやっていく、正社員として働ける安定した企業がある)。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 健康的な活動をすればポイントがもらえる制度。 ・ 自転車や車で移動する時、高齢者でも安心して移動できるような整備。 ・ 高齢者の雇用やかかりつけ医がいるなど安心して暮らしていける環境。 ・ 新しい繋がりができるように、気軽に繋がれる場、参加しやすい交流の場を作る。 ・ 趣味を続けられる環境、文化施設の維持、交通手段。 ・ 趣味をしやすいような雰囲気の良い職場、大企業が来てくれること、転職を考えたときに選択肢がたくさんあること。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑥

カテゴリ	近隣市町村から転入してきた人(結婚、子育て、住宅購入等)
ペルソナ	近隣市町から転入してきた30代女性。夫婦2人暮らし。持ち家あり。そろそろ子どものことを考えている。キャンプ・ゴルフ等、多趣味で休日は出かけることが多い。
富士宮市に住んでいる理由	夫が富士宮市在住で結婚を機に転入してきた。
10年後に実現できているとよいこと	・ 交通手段:今は車での移動が多いが、駅が遠いため電車を利用することができない。 ・ 日常生活:おいしいご飯がある、日用品を購入する場所が減らない、近隣のショッピングが増える、保育の環境が良くなる。 ・ 休日の過ごし方:観光スポットやスポーツ施設、夫婦で出かけられる場所がある。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	○交通手段 ・ 駅を増やす(地元と連携) ・ 観光地に直接行けるようなバスのルート。地元と行政を連携して実現できるとよい。 ○日常生活 ・ 日常生活:最近空き店舗が増えているので、そのような場所に商業施設が入るような企業誘致。商業施設を増やすため企業の誘致、 ・ 保育の環境。子供が住みやすい環境。また福利厚生充実。 ○休日の過ごし方 ・ スポーツ団体を呼ぶ。観光地を周知する。イベントに対する助成制度。 ・ 市が親子講座を増やす。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑦

カテゴリ	近隣市町村から転入してきた人（結婚、子育て、住宅購入等）
ペルソナ	23歳男性。アパート一人暮らし。恋人はいなく、アクティブな性格でスポーツやキャンプが好き。
富士宮市に住んでいる理由	勤務地が富士宮市のため、富士市から転入。
10年後に実現できているとよいこと	・ 趣味のスポーツやキャンプを続けていく ・ 安定した生活を行える収入がある ・ 結婚して家を建てる
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 地元のスポーツ教室の充実や情報の充実。若者世代が暮らしやすいようなまちづくり（参加しやすい地域活動）。 ・ 新規事業の立てやすい環境、企業の安定した営業、最低賃金の底上げなど、十分な給料を得るために大事なことを支援する。 ・ マッチングイベント等出会いの場を設ける。若者世代の結婚のお祝い品や家を建てるための補助金等の支援。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑧

カテゴリ	Uターンで戻ってきた人
ペルソナ	36歳男性。両親、妻、子供と住んでいる。
富士宮市に住んでいる理由	父が体を壊したのをきっかけに東京から富士宮市に戻った。自動車部品工場を経営している。
10年後に実現できているとよいこと	・ 両親の介護に苦労していない ・ 休暇で充実した時間を過ごしている ・ 充実した子育て環境（子どもの進学の選択肢が豊富、子どもも大人も楽しめる施設） ・ 会社の成長
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 介護する人材の確保。 ・ 公園の整備、地域のイベントに参加しやすい環境づくり。 ・ 第2子への手当の充実。給食費をゼロにする。 ・ 高校への企業 PR、異業種との交流会。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑨

カテゴリ	Uターンで戻ってきた人
ペルソナ	23歳女性。公務員。両親、祖父母、犬と暮らしている。大学は東京だが就職により戻ってきた。趣味はおしゃれなカフェ巡りとアウトドア。
富士宮市に住んでいる理由	富士宮市に戻ってきたきっかけは、友達が富士宮市にいないことと、豊かな自然でのんびり生活したいため。
10年後に実現できているとよいこと	・ 豊かな交友関係が続いていること。もともとの友達はいるが、10年後にママ友や趣味仲間が増えていたらもっと豊かな生活が送れるのではないかな。 ・ 趣味を楽しめる環境。富士宮市におしゃれなカフェがたくさんできて、人気のスイーツ店ができるといい。 ・ 自然環境を守りキャンプができるといい。 ・ ワークライフバランス。子育てがしやすい環境や職場に通いやすい環境がある。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ 市民が積極的にイベントの開催をする。行政は同世代交流会を開催する。 ・ 地元の農家とのネットワーク支援、出店相談をすればカフェが出店しやすくなるのではないかな。 ・ 自然環境に関して、都市計画、景観計画や清掃活動、土地を生かしたアウトドア施設を増やす。 ・ ワークライフバランスに関して、保育所をたくさん確保する。給食費、学費、医療費を負担する、通勤手当を支給する。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑩

カテゴリ	東京圏から移住してきた人
ペルソナ	31歳女性。夫と子ども、夫の祖父と同居している。
富士宮市に住んでいる理由	結婚を機に夫の祖父の家に住むことになった。夫の職場も富士市で見つけた。
10年後に実現できているとよいこと	・ 他の地域から移住してきたため知り合いがいないので、移住者のネットワークがあるとよい。 ・ 子どもが大きくなればパートから正社員になりたい。 ・ 教育に対する意識が高いので、中学受験のための習い事に行かせたい。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	○地域のこと ・ 移住者ネットワーク構築のための場の提供。 ○家のこと ・ 住宅リフォーム補助金。 ○仕事のこと ・ 30代40代の就職活動支援。多様な働き方支援。 ・ テレワークや在宅勤務ができるような環境づくり。コワーキングスペースを増やす。 ○家族のこと ・ 子どもの送迎サービス。 ・ 介護の支援やヘルパーが増えるための処遇改善。 ・ 学童ボランティアや子育て支援団体を増やす。

市民の定住や市外からの転入に必要な取組⑪

カテゴリ	東京圏から移住してきた人
ペルソナ	東京圏から移住し富士宮市の農村部で農業をやっている。妻と子供2人。実際農業として生計を立てていく中でやはり所得が少ないが富士宮市が好きなのでなんとか永住していきたい。
富士宮市に住んでいる理由	東京ではSEであったが東京では環境が良くなく、田舎とキャンプが好きだったので富士宮市とその自然環境に憧れて移住。
10年後に実現できているとよいこと	・ 収入を増やすのが大事。畑を増やし生産量を増やす。農産物の付加価値を高めて値段を上げる。消費を拡大し買ってくれる人を増やす。
必要な行政の取組 地域・企業等に求められること	・ スマート農業やオーガニックビレッジを進めて行く。JA や関係団体、販路拡大に努めていく。 ・ 後継者の育成。スクールバスが少ない等農村の課題も多いので拡充できるような政策を講じる。

2-4 富士宮市で叶える将来の市民の Well-Being な暮らし

様々な市民等を設定して、それぞれが富士宮市で将来実現したい Well-Being な暮らし方(働き方等)のキャッチコピーを考えた。コピーの集合体が将来都市像であるという認識のもと、今できることを守り続けていく、今できていなくても少し頑張ればできそうである、といった視点から検討した。

予め設定した市民等

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ こどもたち ・ 中学生 ・ 高校3年生 ・ 就職で東京に転出した若者 ・ 20代の若者 ・ 30代半ばの夫婦 ・ 子育てママ・パパ ・ 農家・酪農家の子ども ・ 浅間大社近くで生まれ育った若者 ・ 富士市で働く人 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚して富士市から転入した夫婦 ・ Uターンした夫とともに移住した妻 ・ 東京から移住した家族 ・ 子育てがひと段落した夫婦 ・ 定年退職を迎えた人 ・ 40歳ひとり暮らし男性 ・ 70歳ひとり暮らし女性 ・ 富士市から通勤している人 ・ 富士市から通学している高校生 ・ 観光で訪れた外国人 |
|---|---|

富士宮市で叶える将来の市民の Well-Being な暮らし

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 A

農家・酪農家の子どもが
家業を誇れる まち

分類

今できていること

今できていないこと

設定理由

・ 中のイベント等での認知拡大
・ DX化、六次産業化等 多様化
・ 事業承継に対する課題

「農家・酪農家の子どもが「家業を誇れる」まち 今できていないこと

- ・ 農業は大変な仕事というイメージがあり、事業承継に対する課題感がある。
- ・ 市のイベントや学校の授業の中で、農業・酪農が富士宮市において重要な産業である旨の普及啓発は進められている。引き続きそれらの取り組みを進めていきつつ、「農業・酪農の多様化」として、DX 化や 6 次産業化も進めていくことができると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 A

浅間大社近くで生まれ育った若者が
地域とともに生きる まち

分類

今できていること

今できていないこと

設定理由

・ 伝統行事が多い
・ 地域のつながりが強い
・ △周りを巻き込める環境がある

「浅間大社近くで生まれ育った若者」が「地域とともに生きる」まち 今できていること

- ・ 伝統行事が多い。浅間大社関連のお祭りだけでなく、商店街のお祭り(宮町祭り等)が多い。
- ・ 地域のつながりが多い。「この人とこれができるからこの場所に住んでいる」という人もいます。

今できていないこと

- ・ コミュニティから少しでも離れた場所に住んでいる人が気軽に入れない／入り方が分からないケースが多い。
- ・ 地域の活動を発信できる環境があると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **A**

観光で訪れた外国人が

リピートしたくなるまち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	・新幹線と身延線が別のため、アクセスが悪い ・両替できる場所がない ・英語で対応が難しい	

「観光で訪れた外国人」が「リピートしたくなる」まち
今できていないこと

- ・ 身延線が新幹線と東海道線に繋がっていない。
- ・ 飛行機で来た観光客が新富士駅から来訪しづらい。
- ・ 観光地は多いが、そこに行くまでの距離が遠くアクセスも悪い。
- ・ 「富士宮やきそば」など名産はあると思うが、お店への支払でクレジットカードが使えない場合、現金を引き出せる場所が少ない。
- ・ 英語で対応できる場所が少ない。

「東京から移住した家族」が「自然に囲まれてのびのび生活できる」まち

今できていないこと

- ・ 移住可能な空き家があるかどうか分からない。そうしたサイトがある話は聞いたが、求めている人が活用しているのわからない。
- ・ 土地があったとしても、建物を建てるための条件が厳しく(農家でなければならぬ／宅地でなければならぬ等)、ハードルとなっている。
- ・ のびのび暮らしたい人がいたとしても、生活必需品をそろえるための買い物がしづらく困る。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **A**

東京から移住した家族が

自然に囲まれてのびのび生活できるまち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	× 移住可能な空き家があるが分からない × 地方で建物を建てるにいく(条件が多) × 買い物に困る...	

「子育てママ・パパ」が「ワークライフバランスがとれる」まち

今できていること

- ・ 最近公園が多くできて自然豊かである。
- ・ 福祉面においても、市内の子育て相談や検査訪問といった制度が充実している。
- ・ 子育てに疲れた時の「ヘルパー対応」等のサービスも増えている。

今できていないこと

- ・ 「臨時情報」等の有事に子どもの預かり場所に困る。
- ・ 親が孤立してしまうと相談できなくなり困ってしまう。相談体制を充実させていく必要がある。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **B**

子育てママ・パパが

ワークライフバランスがとれる

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	・ 育児・仕事の両立しやすいステキな ・ 公園が多い ・ 相談窓口	・ 子育てママ・パパが ・ 両立しづらい ・ 相談窓口 ・ ①誰か

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 B

こどもたちが
安心して成長できる まち

分類

今できていること ☒ 今できていないこと

設定理由


 ・公園多い
 ・見守り体制充実(狭い道多い)
 ・児童クラブ多い(1人にならないで遊べる)

「こどもたちが」が「安心して成長できる」まち

今できていること

- ・ 公園が多いので小さい時から体を動かせる。
- ・ 高齢者が見守りをしている。
- ・ 児童クラブが多い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 B

観光で訪れた外国人が
再び訪れたい まち

分類

今できていること ☐ 今できていないこと

設定理由

富士山、浅間大社、おいしいもの、
 宿泊施設が充実しているはず、
 市全体のアクセスが良くあるはず

「観光で訪れた外国人が」が「再び訪れたい」まち

今できていること

- ・ 富士山に登山する外国人が多い。
- ・ 浅間大社から富士山を上る素敵なルートがある。
- ・ おいしいものがある。

今できていないこと

- ・ 気軽に泊まれる宿泊施設が少ない。10 年後充実していると良い。
- ・ 市全体のアクセスがもっと良くなると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 B

富士市から通勤している人が
住みたい まち

分類

今できていること ☒ 今できていないこと

設定理由

・ アパート、分譲地が多い
 ・ スーパー、薬局が多く、安い物が多い
 ・ こども医療費完全無償化
 ・ 駐車場に困らない
 ・ 通勤に困らない

「富士市から通勤している人」が「住みたい」まち

今できていること

- ・ 渋滞に困っている人が多いが、通勤には困らない。
- ・ アパートや分譲地が増えているので、このまま増えていけば富士市からも移住しやすい。
- ・ スーパーや薬局も増えている。子どもがいる世帯であれば「こども医療費の無償化」等、子育てもしやすい。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 B

就職で東京に転出した若者が
帰ってきたい まち

分類

今できていること ☐ 今できていないこと

設定理由

・ アパート等住める所多い
 ・ リモートワークできる場所がある
 ・ 自然が多い
 ・ Uターンに対して補助があるといふ

「就職で東京に転出した若者」が「帰ってきたい」まち

今できていること

- ・ 人口減少が進んでいるが、出て行った人が帰ってくるには「住まい」が無ければならない。空き家やアパートは、市内に比較的多い。東京と比較すると自然豊かで住みやすい。
- ・ 大きめの企業に就職したとしても、駅前にリモートワークできる場所がある。起業した人など、他の環境にいる人と触れ合うことができる。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 C

子育てママ・パパが 充実した家族時間を過ごせる まち

分類

今できていること ・ 今できていないこと

設定理由

- ・ イベント多々 → 市内で楽しめる。
- ・ 浅間大社、田貫湖、白糸の滝など子供を連れてのんびり過ごせる。
- ・ 住宅用の地価が 周辺市町と比べて安め → マイホーム

- ・ Uターンしたい人がいた場合も、富士宮市に住む場合自動車がなければ移動に困る。自動車購入に際しての補助金を多く出す等の仕組みがあると良い。

「子育てママ・パパ」が「充実した家族時間を過ごせる」まち

- ・ 子どもがいれば、まちに活気が出ると思う。
- ・ 市内で楽しめるイベントが多い(大きな祭りや小さなワークショップ、酒蔵イベント等)。
- ・ 浅間大社、白糸の滝は子供を連れて楽しむことができる。
- ・ 富士市等の近隣地域よりも比較的地価が安い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 C

農家・酪農家の子どもが 農業に魅力を感じることが出来る まち

分類

今できていること ・ 今できていないこと

設定理由

- ① 酪農体験 出来る (行政)
- ② 自然塾 がある (民間)
- ③ キャンプ等、自然と触れ合う場がある (趣味)

「農家・酪農家の子ども」が「農業に魅力を感じることが出来る」まち

- ・ 良い面も悪い面も子どもはたくさん見ている。
- ・ 3Kのイメージがあるが、生業としてやっていくことを意識づける。酪農体験や学校の行事体験でもやっている。
- ・ 民間の活動では自然塾等を行っている。宿泊体験を申し込むこともできる。
- ・ キャンプ場もあり自然環境が豊かである。周辺環境も地域資源が豊かである。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 C

20代の若者が やりたいことができる まち

分類

今できていること ・ 今できていないこと

設定理由

- ・ 市内施設等の1/30割引
- ・ 若者の意見を聞く機会
- ・ 企業、出店の支援

「20代の若者」が「やりたいことができる」まち

今できていないこと

- ・ 20代は好きなことをやっていれば毎日がハッピーだと思う。例えば、スポーツをたくさんする若い男性は、市内スポーツ施設が安く使えればもっとやりたいことができる。市内北部にはパラグライダーやゴルフができる施設があるが、20代にとっては「金額が高い」という印象がある。
- ・ 市が十分に把握できていない可能性があり、もっと若者の意見を聞く場があると良い。そうすれば、若者の幸福度向上につながる。
- ・ 最近始まった商店街の空き店舗の活用促進等を進めていけると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 C

中学生が

アオハルを満喫するまち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	- 豊かな自然 - おいしいごはん	交通手段を充実させる!

「中学生」が「アオハルを満喫する」まち

- 小学生のうちは近所の公園等で遊ぶ。高校生は電車に乗って市外に出かけることができる。イオンしか遊べる場所がない。
- 南北は自然豊かでスイーツもおいしいが、北部までの交通手段がない。
- にあバスを充実させる、モデルプランを作るなど、今ある資源を上手く組み合わせて、モデルプランを考えることで、今ある資源を組み合わせで満喫できると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名

高校3年生が

起業できるまち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	- 選択肢がない。あるようではないもない。 - 細く考えれば資源はいい。はいある。富士山、酪農 - 高校生の柔軟な発想を形にできる。→富士宮社長に!	

「高校3年生」が「起業できる」まち

今できていないこと

- 仕事の選択肢が少ない。
- あるようで何もないと思われがちだが、しっかり考えれば富士山をはじめ資源はたくさんある。柔軟な発想を生かして起業できる。一般社員ではなく社長として働くことができる。商工振興課等のサポートも必要だろう。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 D

浅間大社近くで生まれ育った若者が

歴史・文化に誇りをもてるまち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	- お地元の人が一体となつて盛りあげるお祭り - 富士山信仰の歴史 →世界遺産 - お地酒・地ビール	- お地酒をば - 神田川 - お地酒 - 富士宮 - マスター - 検定

「浅間大社近くで生まれ育った若者」が「深い歴史・光る文化に誇りを持てる」まち

今できていること

- 一体となって盛り上げる祭りがある。
- 富士山振興をインプットする機会はあるが、アウトプットする場面がない。
- 「富士宮マスター検定」等があると良い。検定という肩書を持つことで、自分の誇りを語れるようになると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 D

子育てがひと段落した夫婦が

趣味のお酒をゆったり楽しめるまち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	- 酒蔵(多)おいしいもの(多) - お祭り・イベントたくさん - アケス悪い、飲いたら次の場所に移動できない →駅近の商店街を利用してハシゴ酒できる横丁と!!	

「子育てがひと段落した夫婦」が「趣味のお酒をゆったり楽しめる」まち

今できていないこと

- 市内に酒蔵が多く、日本酒もビール、焼きそば等、食べ物も多いしいものが多い。
- 1年を通してイベントが多い。
- 場所が各地に散らばっており、1か所で楽しめない。
- 駅前に店舗が集まって、「梯子酒ができる場所」ができると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **D**

70歳ひとり暮らし女性が 寂しくなく健康で文化的に 暮らしをまちな

分類 ☒ 今できていること ☐ 今できていないこと

設定理由

富士山の麓で文化サークルが沢山ある。
足が悪くても宮崎がある。町内会に見守られている。
→ ゆくゆくは富士山の前でお披露目、配信者デビュー!?

「70歳ひとり暮らし女性が「寂しくなく健康で文化的に暮らせる」まち

今できていること

- ・ 陶芸サークルなどの取り組みが盛ん。維持していく必要がある。
- ・ 足が悪くても町内会を通じて見守られている。
- ・ 舞踊をしており、お披露目会や一部配信にチャレンジできる機会があると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **E**

定年退職を迎えた人が これまでの仕事以外の生きがいを 見つけられるまちな

分類 ☐ 今できていること ☒ 今できていないこと

設定理由

・ 年齢関係なく働くことができる仕事の選択肢
・ 同年代が繋がれるコミュニティ
・ 新たな趣味にトライできる環境

「定年退職を迎えた人が「これまでの仕事以外の生きがいを見つけられる」まち

今できていないこと

- ・ 定年後の仕事の選択肢がない。
- ・ 同年代が繋がれるコミュニティがない。
- ・ 無趣味の方(仕事中心に生きてきた人)が新しいことにチャレンジできる場所があると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **E**

観光で訪れた外国人が リピートするまちな

分類 ☐ 今できていること ☒ 今できていないこと

設定理由

・ 固有の資源を生かす
・ 地域との交流
・ 外国人への偏見...

「観光で訪れた外国人が「リピートする」まち

今できていないこと

- ・ 今も来ているが、また来てもらうことで地域が潤う。
- ・ 地域のより深い部分が知られていないと思うので、そこを知ってもらえると良い。(居酒屋でマスターと仲良くなる等)
- ・ 市民は外国人だと構えてしまう部分があるので、その壁をなくしていけると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **E ~ ぐるみ**

グルメで一発当てたい人が 富士山の水を生かして稼げるまちな

分類 ☒ 今できていること ☐ 今できていないこと

設定理由

・ 富士山の豊富な水
・ 豊富な食資源
・ “食のまち”という風土

「グルメで一発当てたい人が「富士山の水を生かして稼げる」まち

今できていること

- ・ 食資源がそろっている。
- ・ 食のまちフードバレーがある。
- ・ 名産品、スイーツグルメを作ってもらおう。
- ・ 名物になれば、ふるさと納税の返礼品に繋がる。かせげるまちになると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 E GROUP

富士市から通勤している人が
富士宮でいいじゃん まち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	・以外と何でもそう、 <u>人が温かい</u> 。 ・アクティビティ・自然が多い。 ・大きい祭りがある。 ・富士・富士宮で連携がとれている。	

「富士市から通勤している人」が「富士宮でいいじゃん」まち

今できていること

- ・ イオンもあるので、意外と何でもそろう。
- ・ 北部は自然豊かで、富士市にはない「牧場」「スカイダイビング」等もある。
- ・ 地域ならではの大きな祭りもある。
- ・ 富士宮で引っ越したとき、やりやすさがある。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 F

東京から移住した家族が
ストレスフリーで仲良く暮らせる まち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	・満員電車や人混みが少ない → ストレス(減) ・自然豊かで、水・空気がきれい ・キャンプ場や牧場など、家族でお出かけできる	

「東京から移住した家族」が「ストレスフリーで仲良く暮らせる」まち

今できていること

- ・ 満員電車や人混みは少なく、せかせかしていない。
- ・ 自然豊かで水や空気がきれい。
- ・ キャンプ場が多くあり、家族で仲良く出かけることができる。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 F

70歳ひとり暮らし女性が
丁寧な暮らしを実現 まち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	・自然に囲まれ、住民の気質がのんびりとしている。 ・土地の高低差により地産物が多く、旬のものを食べることが出来る。 ・貸し畑が多くあり、自分で野菜を育てることが出来る	

「70歳ひとり暮らし女性」が「丁寧な暮らしを実現する」まち

今できていること

- ・ 「丁寧な暮らし」に定義はないが、「自然を大切にしながら日々の暮らしをゆったり過ごすイメージ」で考えた。
- ・ 住民がのんびり過ごしている。
- ・ 旬の食材を食べられる。
- ・ 農地があり自分で野菜を育てることができる。
- ・ 年を取ると、花を愛でなくなったり、野菜を育てなくなったりすると聞いたことがある。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 F

富士市から通勤している人が
富士宮市に移住したくなるような まち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	・自然を活かし、雑草ばかりの街ではなく見ただけで癒されるようなきれいなまちにしていく。 ・富士市よりも娯楽施設を充実させる。 ・富士市よりも多い土地を活かし、賃貸物件を増やす。	

「富士市から通勤している人」が「富士宮市に移住したくなるような」まち

今できていないこと

- ・ 自然は多いものの、道路に雑草が多い。見ただけで惹かれるようなまちにすべき。
- ・ 娯楽施設が富士市より少ない。充実させる必要がある。
- ・ 富士市よりも多い土地を見せて賃貸物件を増やせると良い。

Well-Being な暮らし検討シート

グループ名 **F**

10

定年退職を迎えた人が

快適な老後生活を送れる まち

分類	今できていること	今できていないこと
設定理由	○ 自然豊かで暮らしに疲れない。 ○ 再就職(ボランティア含む)しやすい。 ○ 田舎ならではの行きつけの飲食店。	

「定年退職を迎えた人」が「快適な労働生活を送れる」まち

今できていること

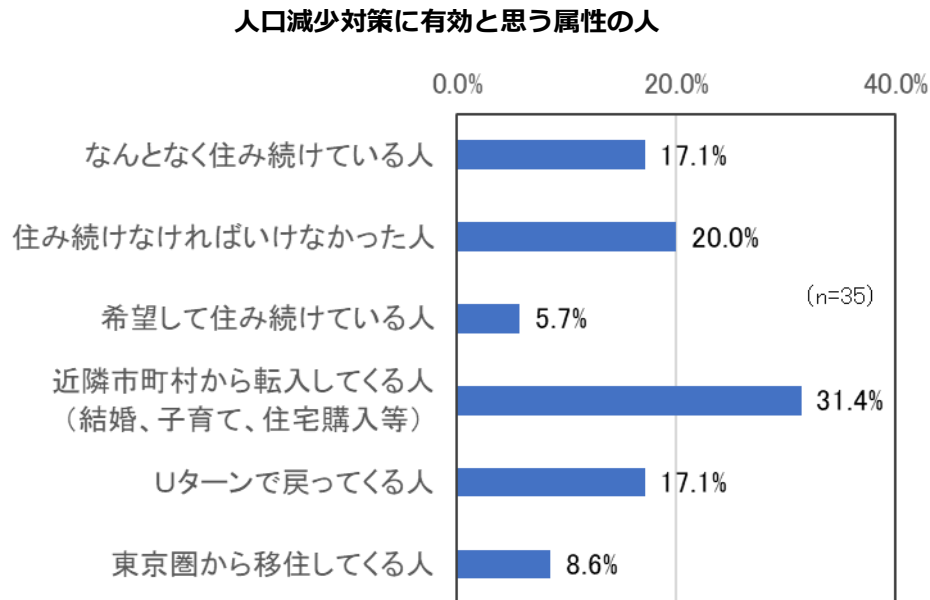
- ・ 自然豊かであるため、他の街に比べて暮らしにつかれない。
- ・ 定年退職後の活動として「マンホールカードの配布」等のボランティアがあるよう。再就職先だけでなくボランティアを含め、活力を発揮していただける機会がある。
- ・ 10 年後に定年退職を迎える知り合いの方が、「いきつけの飲食店」を見つけるのが楽しみと話していた。

3 参加者の意見

3-1 各回に実施したアンケートの主な結果

(1) 人口減少対策に有効と思う属性の人 (MA)

近隣市町村から転入してくる人が人口減少対策に有効と考える職員が最も多い。



(2) 市の人口減少をできるだけ少なくするための、最も必要と思う取り組み

(主な回答)

転出抑制策	・ なんとなく住んでいる人にはなんとなく出ていく人もいるはずなのでこれを減らす。 ・ 今住んでいる人が、外に出ていかないような取組。 ・ 今いる人を流出させない。
Uターン政策	・ 一度転出した人が戻ってきやすい、戻ってきたいと思う取り組み。 ・ 大学進学で他市や他県には勝てないのでどれだけ呼び戻すか。 ・ Uターン就職したい人に向けた説明会(生活のイメージが湧くよう具体的な)や、高給、手厚い福利厚生企業の誘致。
IJターン政策	・ 外から人を連れてくるのが早い。
まちのにぎわい	・ 近隣でショッピング等、生活に必要な施設および、ご集客施設が増えることが必要であると思う。 ・ 充実した生活をするためには、施設(商業・公共)が必要。その施設の規模の拡大、新設をするための市からのスタートアップ支援が必要だと感じた。

しごとづくり	・ 非正規雇用の少ない企業誘致、安定した雇用と可処分所得の増加。 ・ 雇用の確保と子育て支援。 ・ 就職先支援。 ・ 働く場所を確保する。 ・ 様々な仕事の選択肢を用意する→流出を防ぎ流入を促す。
ワークライフバランス 子育て支援策	・ 就職先や進学先の充実、結婚・出産・子育てがしやすい町づくり等。結婚を機に県内他市町村にいく人が同年代に多いと感じています。 ・ 住みやすい環境整備→育児・仕事・買いものなどに困らない環境。 ・ 仕事と家庭の両立のしやすさ、在宅勤務の充実、あずかり施設。 ・ 人口の社会増を期待するため、働き方の多様性にマッチした取組。 ・ 子育て支援 第二子から補助。→情報発信 ・ 第2子への補助金。 ・ 第2子への手当ての充実。→子育て ・ 子育て支援。 ・ 子どもを育てる環境の整備。 ・ 子育て世代への投資(預り保育の拡大など)。 ・ 子育て支援か、子供がいても生活しやすい環境作り。 ・ 子育て世代にやさしい取り組み。
福祉	・ 社会保障費の金額水準を近隣より良くする。 ・ 福祉の充実が、何年も住むことを考えると重要だと思いました。
その他	・ 他の市町の先をいく施策、マネだけではパイのとりあいに負ける。 ・ 行政にできることは、産業でいうと、付加価値を高めることが重要だと思う。そのために、アドバラン的な施策(〇〇宣言、イベント etc)は積極的に開催することが重要だと思う。 ・ 交流の場をつくる。

(3) 今後のまちづくりにおいて重要と思われるキーワード ※カッコ内数値は同一件数

水	富士山の水(2)／水(2)／美味しい水／きれいな水／水の良さ／水資源／豊富な水／水(湧水)
食	食(3)／食文化(水、卵、牛乳、肉)／食文化／食資源／食(フードバレー)／食(水など)～自然から生まれた野菜や肉・乳／グルメ(3)／「グルメ」な富士宮／特産物(酒・湧水・畜産物など)／お酒(2)／地酒(日本酒、ビール、ワイン等)／地酒
文化・歴史	文化(2)／文化的／文化周知／芸術／祭り(2)／独自の祭り(文化)／行事(2)／伝統行事／伝統(お祭り)／伝統文化(富士山、祭り)／お祭りなどの行事／地域行事(神社のまつり、地域とのつながり)／歴史(5)／歴史・文化とともに
自然・富士山	自然(5)／自然豊か(3)／自然の充実／自然(豊かな)を生かした／自然(水、広大な大地、動物とのふれあい)／自然(富士宮は富士山、自然、水が最大の資源)／自然(富士山)／市内の子どもたちへの富士宮の優れているもの(水、自然、酪農)を授業等で学習・体験を／自然環境の良さを今以上に他県他市の人への啓発／富士山(4)／富士山(歴史と文化と誇り)／キャンプ／土地
農業・酪農	農業(3)／風土を生かした農業／酪農(3)

暮らし方	丁寧な暮らし(3)／丁寧(物質的豊かさから精神的豊かさへ。成熟社会における地域を考えるワード。)／住みたい／ずっと暮らしたい(リピートを含む)／のんびり過ごす／「ゆったり、丁寧な、落ち着いた」生活／暮らしやすい(住みやすい)／衣食住の「住」～住みやすさ／地域とともに／地域とともに生きる／平和～平穏な暮らし・丁寧な田舎暮らし／人・つながり～あたたかい人柄／健康的に生活／老後生活
誇り・愛着	誇り(2)／誇れる／誇り(文化・歴史・家業)／誇り(地域に住む人が文化・地域に誇りがあるからこそ。「祭り」や「美化」は誇りなくて成功しない)／家業を誇れる／富士宮市として「誇れる」
活力・成長	起業／起業できる／空家や空地を利用して、食に関する事業への支援(今あるものは、よりたくさんの人に届くように)／稼げる／夢をかなえられる(諦めなくていい、選択肢がある)チャレンジができる／成長
安全・安心	安心(3)／安全／安心して成長できる(親・子・祖父母・独身それぞれが)
交通・インフラ・DX	交通(2)／交通アクセス／交通の不便さ／DX化(2)／インフラ／通信
その他	公園(2)／宿／アウトプット(まちを知る、未来に生きる子どもたちが育つ)／利便性へのサポート／子育て／多様性(これから人口減少となり移民(移住者)が増える。いかに衝突を減らすか。重要なワード。)／六次産業／富士宮マスター検定

3-2 参加した感想

(主な回答)

- ・ 様々な世代、職種の考え方・価値観を知ることができて貴重な体験になりました。
- ・ 単純に富士宮を良くしたいと考えていたが、実際にいろいろな人の意見をきいてより深く良くしたいと思えた。
- ・ 自分では思いつかないような視点からの発想・企画・提案があり刺激になった。
- ・ 他課がどのようなことに携わっているのか知ることができてよかったです。
- ・ 自分の知識以外の富士宮の魅力を知れたこと。
- ・ 富士宮市についてよく考える機会となりました！
- ・ 富士宮市について改めて知ることができた。他の課の方の知識を共有することができた。(正直、市の魅力が何かわからなくなってきました)
- ・ 富士宮市について良い所、悪い所の両方を考える事で市政について考える良い機会となりました。また、普段は交流する事の少ない職員同士で話し合いが出来てよかったです。
- ・ 富士宮市のまちづくりについて、あまり考えたことがなかったので、何が出来ていて、何が出来ていないのか洗い出しができたのは良かったと思う。
- ・ 都市の魅力をキーワードとして捉える。捉えるクセを持つことが大事ということを学べた。
- ・ 毎回グループが組まれ、他部署の人とグループワークをし、発送やワードセンスに刺激を受けた。
- ・ 日常業務の中では考えることがほとんどない富士宮の未来について考えることができた。他の職員の考えも知ることができたことも良かった。
- ・ 他部署の仕事や市全体で取り組んでいることを知り「まちづくり」という広い視点を持つことができました。
- ・ 各人が業務内容を活用しながらプレゼンをやっているのが多く見れて、ものを見る確度が多く新鮮だった。
- ・ 色々な部署の人との交流・富士宮市の強みの掘り起こし・現在の業務と次期総合計画のつながり(マクロの視点)
- ・ まちについて考えるよい機会でした。仲間たちとたくさん意見も交換できてよかった。
- ・ 富士宮市の未来についていろんな角度から考える機会ができた。現状分析も深くしたことがなかったのでよかった。
- ・ いろいろな課の人や経歴を持った人たちがそれぞれの知識を出し合ったことで、自分では気づくことができなかった

った富士宮市の魅力を知れたこと。誇るべき歴史や文化、資源について再認識できたこと。

- ・ 考えてアウトプットする、短時間ですということが普段全くないのですごく頭が働いて、毎度新しい学びがあり楽しく富士宮の未来を考えることができました。
- ・ 富士宮市の良いところ、活かし方、まだ足りていない点を考えることができたこと。すでに政策として取り組みができていることもあるが、市がどこまで支援できるかが市民にとって住みやすいまちになると思い、私自身の市民の対応、業務の取り組み方について見直すきっかけになったこと。
- ・ 今まで名前しか知らなかった人と話すことができ、人となりを知れた。自分が知らない視点や市の政策がある。
- ・ 今の富士宮市の良いところ、改善すべきところを見つめなおすことができた。そして、10 年後どんな富士宮市ならば市民がよりよく暮らせるのかということを考え、まちづくりの方向性を考えることができた。
- ・ 富士宮市らしさを考えるきっかけになりました。
- ・ 富士宮市の良い点・悪い点に気づけたこと。他課の政策や富士宮に関する知識を知れた。
- ・ 普段の業務では考えることもなかった富士宮市の未来について改めて考えることで、今の富士宮市の良い所、改善すべき所が明確になった。また、他部署の方の意見を聞くことで、富士宮市に対する様々な見方を知ることができた。